

# 火山衛星監視システム

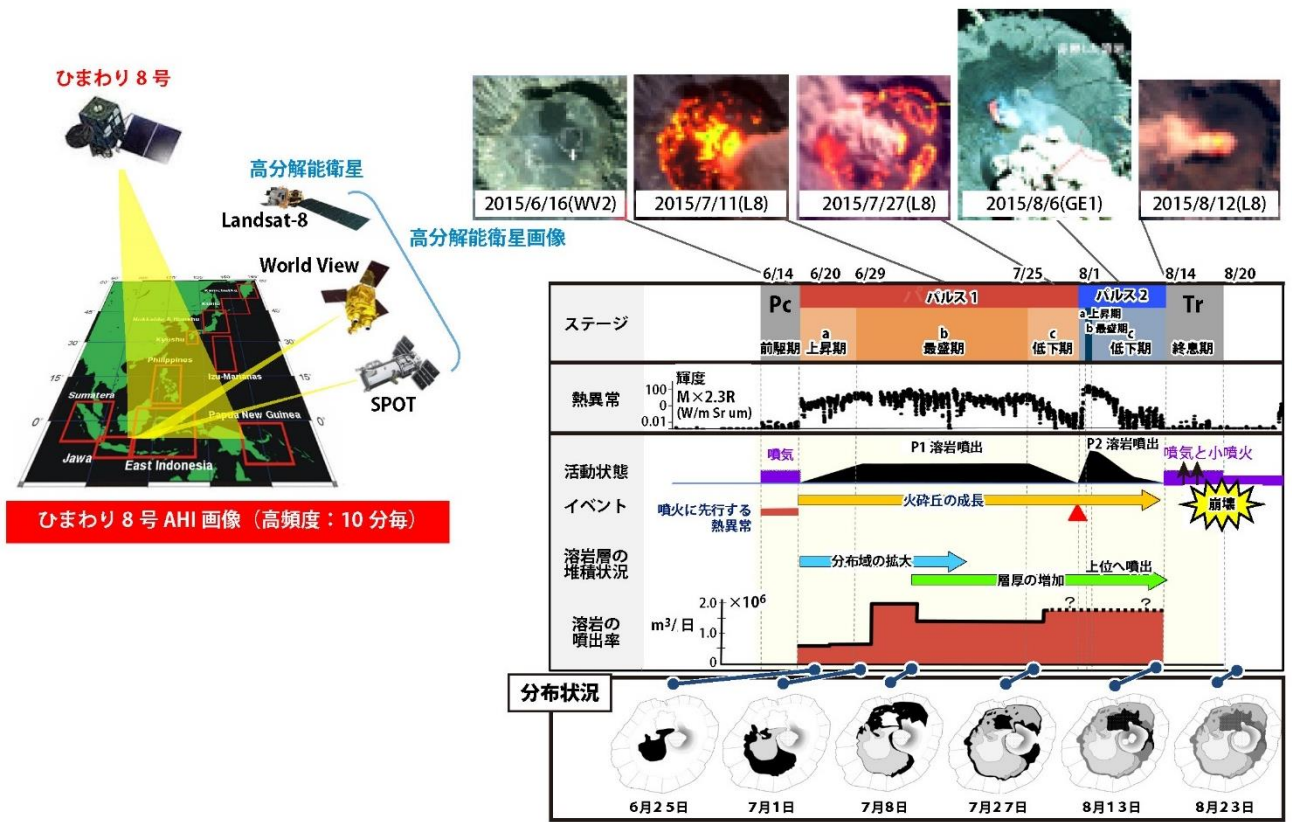


図12 衛星赤外画像による活火山観測の高度化及び自動化

衛星を用いた広域観測により、詳細が知られていなかった、インドネシア・ラウン火山の2015年6～8月の噴火の推移を明らかにした。ひまわり8号による超高頻度赤外画像(AHI)によって、熱異常変化を捉え、複数の衛星による高分解能画像から噴火活動状態や溶岩の分布状況を推定した。さらに、噴火前の地形データとの比較から溶岩の堆積状況と噴出率の変化を求めた。平成28年度には、熱異常観測を自動化し、東アジア～西太平洋域の火山のリアルタイム観測を行っている。